

## 豚肉の需給予測について

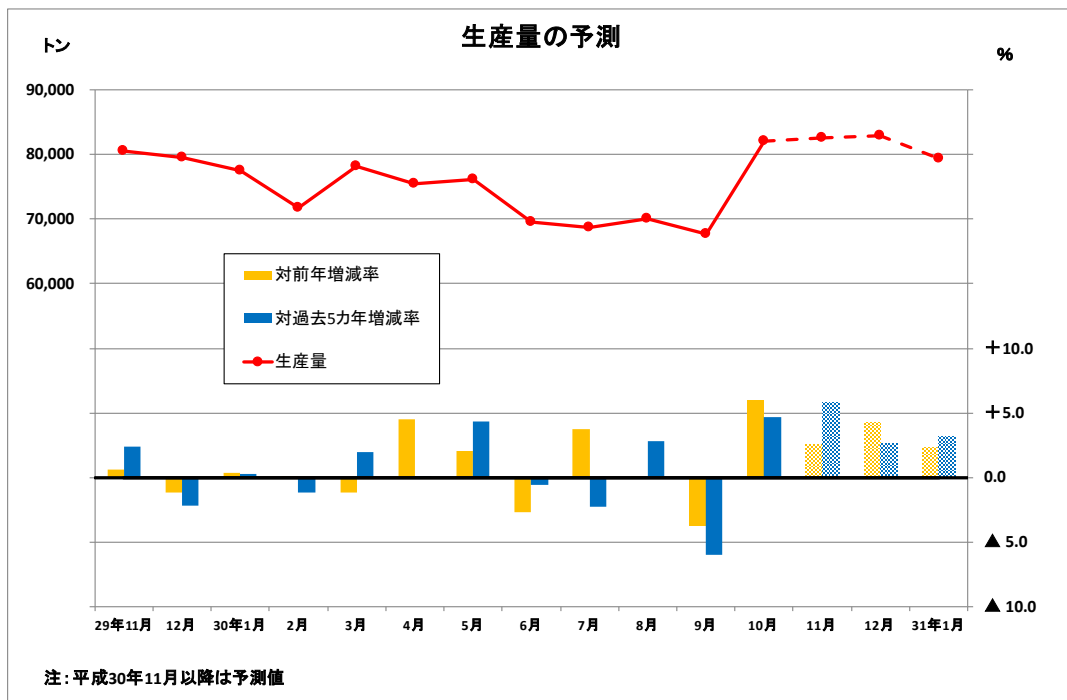
### 1 出荷頭数・生産量

- 出荷頭数は、前年同月を上回って推移すると見込まれることから、生産量も12月はやや、1月はわずかに、いずれも前年同月を上回ると予測する。
- 3カ月平均（11～1月）では、出荷頭数はわずかに、生産量はやや、いずれも前年同期を上回ると予測する。

(千頭、千トン)

	出荷頭数	生産量
平成30年11月(見込み)	1,500 (102.2%) [99.8%]	82.6 (102.6%)
12月(予測)	1,514 (103.9%) [105.0%]	83.0 (104.3%)
31年1月(予測)	1,422 (101.9%) [101.7%]	79.3 (102.3%)
11～1月平均	1,479 (102.7%) [102.1%]	81.6 (103.0%)

注：( ) は前年同期比、以下同じ。[ ] は1日当たり出荷頭数ベースの前年同期比。

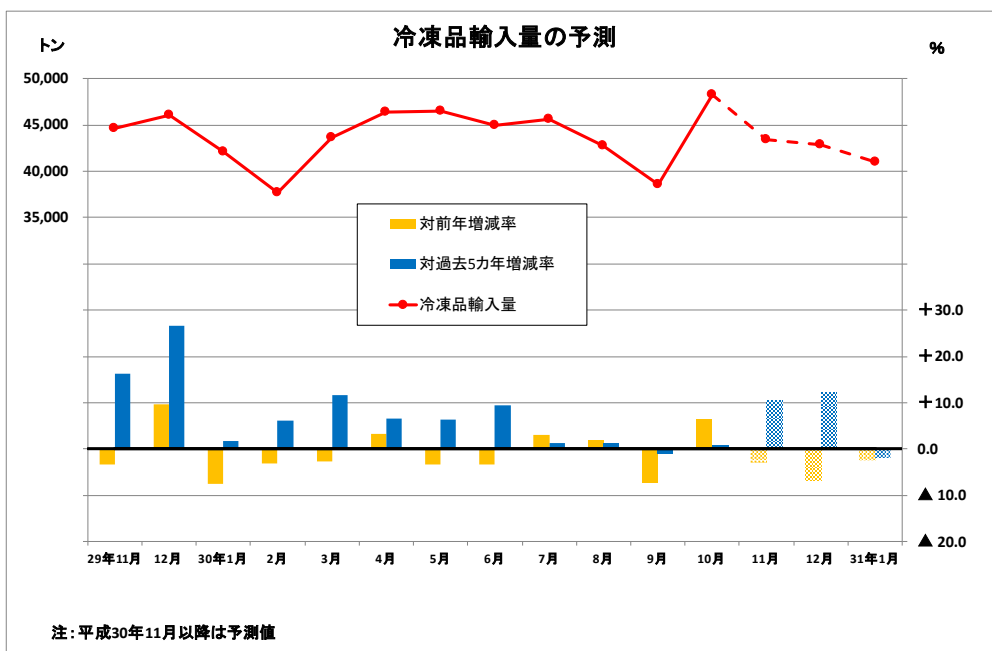
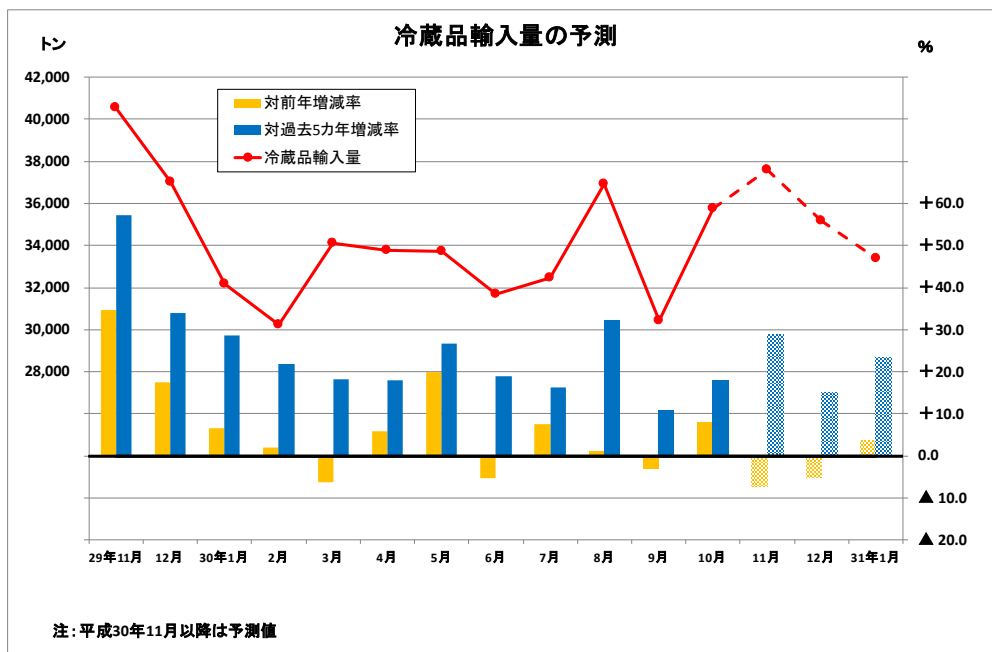


## 2 輸入量

- 冷蔵品輸入量は、前年の輸入量が多かった反動で12月は前年同月をやや下回る一方で、1月は前年同月をやや上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。
- 冷凍品輸入量は、アフリカ豚コレラ発生によるハンガリー産の輸入が停止されていることに加え、TPP11協定や日EU・EPA協定発効を目前に、一部通関を保留する動きも予想されており、12月はかなりの程度、1月はわずかに、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。

(千トン)

	冷蔵品	冷凍品	合計
平成30年11月(見込み)	37.6 (92.8%)	43.4 (97.2%)	81.0 (95.1%)
12月(予測)	35.2 (95.0%)	42.9 (93.1%)	78.1 (94.0%)
31年1月(予測)	33.4 (103.8%)	41.0 (97.5%)	74.4 (100.2%)
11~1月平均	35.4 (96.8%)	42.4 (95.9%)	77.8 (96.3%)

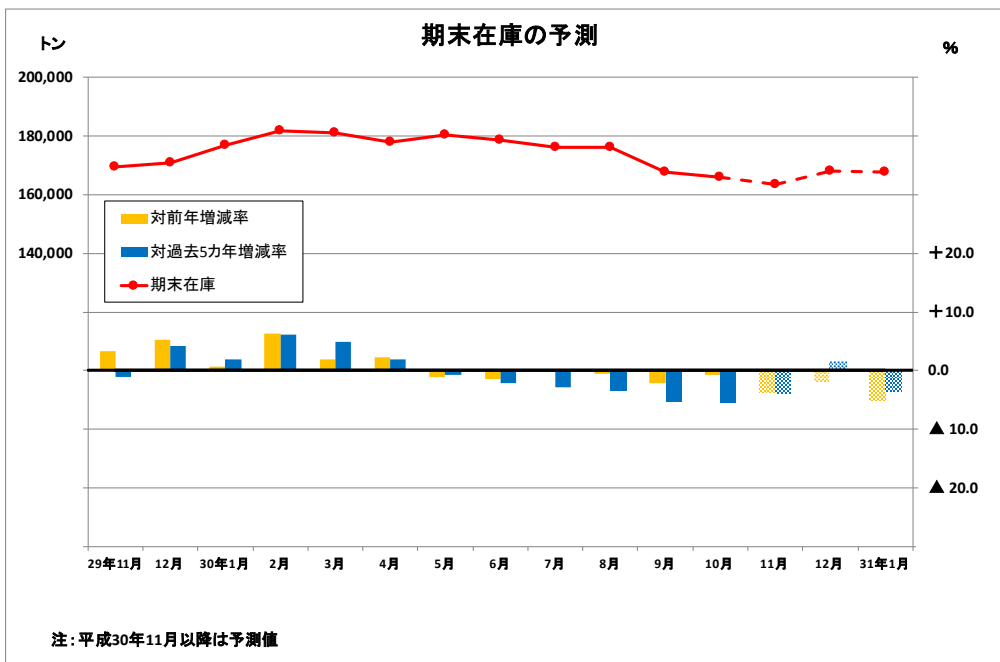
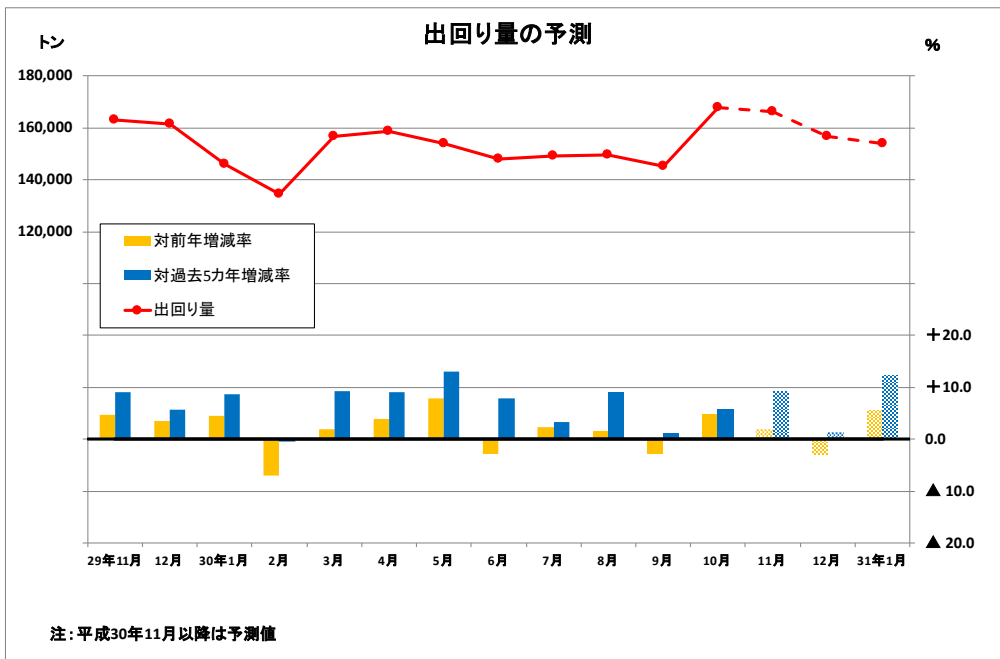


### 3 出回り量・期末在庫

- 出回り量は、過去の月別出回り量の実績をもとに推計した結果、12月は前年同月をやや下回る一方で、1月は前年同月をやや上回ると予測する。
- 期末在庫は、12月はわずかに、1月はやや、いずれも前年同月を下回ると予測する。

(千トン)

	出回り量	期末在庫
平成30年 11月 (見込み)	166.1 (101.9%)	163.4 (96.3%)
12月 (予測)	156.6 (97.0%)	167.9 (98.3%)
31年 1月 (予測)	154.0 (105.6%)	167.7 (94.9%)



#### <予測手法>

- 出荷頭数は、最近の出荷頭数の傾向をもとに過去の月別出荷頭数の実績を考慮して予測。なお、1日当たりの出荷頭数をベースにと畜場稼働日数を加味し、月単位で算出。ただし、直近月については、日別の全国と畜頭数（速報値）をもとに推計。
- 生産量は、出荷予測頭数に過去の月別枝肉重量の実績をもとに算出した平均枝肉重量を乗じて部分肉換算率を70%として算出。
- 輸入量は、機構の実施している輸入動向検討委員会における輸入数量見込み。
- 出回り量は、過去の月別出回り量の実績をもとにARIMAモデル（計量経済学に基づく手法）で算出。
- 月末在庫量は、機構の実施している食肉等保管状況調査の実績をもとに、生産量及び輸入量を加え、出回り量を控除して算出。

#### お問合せ先

（独）農畜産業振興機構 畜産需給部  
需給業務課 後藤、河村

TEL 03-3583-4302 FAX 03-3587-0768